

フィールド

現場心理学における質的データからのモデル構成プロセス ——「この世とあの世」イメージ画の図像モデルを基に

やまだようこ Yoko Yamada

京都大学大学院教育学研究科 Graduate School of Education, Kyoto University

要約

本論は、現場心理学において質的データからモデルを構成する方法論について、実際の研究を例にしてモデル構成プロセスを考察した理論論文である。まず、モデルとは何かについて考え、モデルを「関連ある現象を包括的にまとめ、そこに一つのまとまったイメージを与えるようなシステム」と定義した。そして論理モードとは異なる図像モードによるモデル作成を提案した。

次に現場データからどのようにモデル構成していくか、その実際のモデル構成プロセスを、「この世とあの世」イメージ画研究をもとに考察した。そのプロセスにおいて、Ⅰ基本要素、Ⅱ基本構図、Ⅲ基本枠組と名づけた水準の異なる3つのモデルが構成された。Ⅰ基本要素は、生の質的データからボトムアップで構成され、分類カテゴリーの作成と再び生データを見直して数量的・質的分析をするために使われた。Ⅲ基本枠組は、理論からトップ・ダウンでつくられた座標系である。Ⅱ基本構図は、最後につくられた媒介モデルで、ⅠとⅢを包括的に関係づけ、基本要素の変化プロセスを位置づける関係体モデルである。これは、質的データの具体性と固有性を保持しながら一般性を表示できる「半具象的図像モデル」として注目された。

キーワード モデル構成, 質的方法, フィールド現場心理学, イメージ描画, 図像モデル

Title

The process of model construction based on qualitative data in field psychology: Figurative models from image drawings of "This World and the Next World"

Abstract

The methodology of model construction based on the qualitative data was considered by our research on Japanese-French image drawings of "This world and the Next world." The following three figurative models were constructed: I Element, II Composition, III Framework. Model I (Element) was the fundamental pattern categorized from raw data of image drawings. Model III (Framework) was the theoretical coordinate for mapping the elements. From the combination of these two models, Model II (Composition), the process of change of the elements from this world to the next world within the framework, was constructed. It is an integrated model depicting the abstract configuration and variety of concrete arrangements of naive images.

Key words

model construction, qualitative method, field psychology, image drawing, figurative model.